

2026年度 一般財団法人関東大学バレーボール連盟 第2回関東理事会 議事録

1. 日時：2026年7月22日（水）18：00～

2. 会場：Zoom リモート会議

3. 出席者： 監事 小俣 俊之
会長 積山 和明
副会長 遠藤 俊郎
理事長 小野瀬 聡
業務執行理事 高野 和弘
副理事長 滝澤維世嗣
理事 五十嵐和絵、板倉 尚子、梅北 将大、大西真紀子、川合 庶、
木下 健、澤 達大、龍興 章博、田中 博史、中田 学、
中西 康己、並木 清三、根本 研、浜野 陽一、宝積 秀文、
松井 泰二、吉原 剛
陪席者 鎗 天翔生、久米 葵、関口 珠季、高橋 佳良、高橋 茉愛、
笹尾 月渚、石川 佳奈、中山 羽澄、鈴木 桜弥、栗田 諒、
行徳あんな、山中 晴賀、新妻 瑞生、深井 優、青木 尋、
村上 真彩、太田 琴梨、田淵 美里、小野里 茜、森野真優人、
金田一雄大、高畑 実来、今野 羽菜、鴨須賀柊哉、武田 涼菜、
柳 那奈、小林 若葉、社本 美羽、深堀 瑠生、石堂 結愛、
文責者 鎗 碧央生、中野 和香
藤本 凜娃

4. 議題：

- ① 春季リーグ最終結果について
- ② 各種決算書（案）について
- ③ 各種大会報告について
- ④ 秋季リーグ戦について
- ⑤ 各種予算書（案）について
- ⑥ その他

5. 議事内容：

- ① 春季リーグ最終結果について
・春季リーグ最終結果について報告があった。
- ② 各種決算書（案）について
・各種決算書（案）について説明があった。
・収益について、約500万円が見込まれると説明があった。
・学連の交通分担金について、チームから徴収していないため、約115万円程度のマイナスからのスタートとなっていたと説明があった。
・審判日当について、2,000円から3,000円増額すると提案があった。
採用された場合約25万円程度の費用増加が見込まれると説明があった。
・審判交通費について、京王観光を利用した場合、全体として約50万円程度の費用が必要となる見込みであると説明された。
・審判の交通費精算について、費用面及び業務負担の軽減を視野に入れた検討を進めると説明があった。
- ③ 各種大会報告について
・ネクストジェネレーションマッチについて、12チームで開催されたと報告があった。
・ネクストジェネレーションマッチについて、監督・指導者からも好評であったと報告があった。
・大同生命の会社説明会について、全学年の部員が参加する形となったことについて、次年度以降改善・工夫が必要と意見があった。
・反省点やフィードバックについて、スポーツフィールドおよび学連、各チームの監督と協議の

上、次年度以降の開催について検討していくと説明があった。

- ・会場借用について、各大学に会場借用申請を行い借用不可の場合に公共施設を使用するようにと意見があった。
- ・会場決定の段階で各大学監督に承認を得るようにと意見があった。

④ 秋季リーグ戦について

- ・審判日当の増額および交通費精算等のシステム化について、秋季リーグからの導入を行うと説明があり、可決された。
- ・ホームページに関する意見について、プロジェクトチームおよび広報委員長を中心に新しいホームページの準備を進めていると報告があった。
- ・ホームページについて、秋季リーグ戦のエントリー期間は従来のものを使用し、順次新しいホームページへ移行する予定であると説明があった。
- ・男女1部の試合配信について、春季リーグ終了時点では会員数が200名弱にとどまり、大きな増加には至らなかったと報告があった。
- ・秋季リーグ以降の配信について、秋季リーグ戦でも春季リーグと同様の配信体制を継続すると説明があった。
- ・サイン盗みについて、今後の規定や定義を明確にする必要があると意見が出された。
- ・サイン盗みについて、サイン盗みの定義を明確にする必要があると意見があった。
- ・サイン盗みについて、秋季リーグ開始までにJVAの規定との整合性を含めて定義や規定の方向性を整理すると説明があった。
- ・サイン盗みについて、規律委員会を早急に開催し、具体的な文言や対応について検討した上で、理事会および関係委員会へ報告すると説明があった。

⑤ 各種予算書（案）について

- ・各種予算書（案）について説明があった。
- ・審判日当の増額および交通費精算等のシステム化に伴う費用について、今後の予算への影響を含めて検討すると説明があった。
- ・審判日当の増額について、合計で約50万円程度の費用が見込まれると説明があった。

⑥ その他

- ・集客について説明があった。

以 上

一般財団法人関東大学バレーボール連盟